

## 高松市庵治地区地域審議会第1回会議質問等事項一覧表

項目	関係事業	内容	備考
①連帯のまちづくり	「留守家庭児童会の実施」	合併以前は、原則、小学校1年生から3年生としていたが、定員の余裕がある場合は小学校4年生も加入できた。全市的な調整により、対象を小学校3年生までと限定しているが、それぞれの児童会によって状況に相違があり、可能な児童会においては対象学年を拡大する考えは如何に。	
	「男女共同参画社会の形成」	事業の内容、事業費について説明を求める。	
②循環のまちづくり	「森林の活用と保全について」	庵治地区の山林(島嶼部を含む)の多くは魚つき保安林である。「森は海の恋人」といわれるように、双方は親密な関係があり、森林の保全・活用は、地場産業である漁業の資源確保、ひいては漁業振興に大きく関係してくる。施策の実施にあたっては、専門的見地を含めて検討が必要と思われる。今後、どのような方針で、どのような施策を講じるのか考えは如何に。	
	「下水道汚水施設の整備」	丸山、久通地区(丸山峠南側)の今後の下水道施設整備計画について、牟礼地区との地理的関係の中での計画の見直しをする考えは如何に。 下水道整備の計画箇所、内容、事業費の説明を求める。	
	「ごみ処理基本計画の策定」	家庭からの「灰」の処理にあたっては、従来埋め立てごみで処理を行ってきた。住民間では「灰は収集されない」との話も出ている。日常的に排出されている現状から、住民要望は高いものがあるが、市としての統一した見解は如何に。	
	「竜王山公園(仮称)の整備」	自然や現況をできるだけ残し、自然の景観を保全するとされているが、整備にあたっての基本的なコンセプト、具体的計画、また事業費の内訳について説明を求める。 整備にあたり専門家の意見を求める考えは如何に。 庵治町時代に、ボランティア活動によって植樹された桜の木の取り扱いは如何に。 また、用地購入にあたっては、パイロット地区を一体化とし、旧パイロット用地全体を購入すべきと考えるが如何に。	
	「合併処理浄化槽設置の助成」	下水道施設整備予定区域外については、合併浄化槽とするのか。設置の上乗せ補助は3年間継続するとなっているが、それ以後の取扱いは検討されているのか。新たな施策があるのか、考えは如何に。	
	「河鵜問題について」	昨年、約2000羽の河鵜が大量寄生し、糞尿により、小兜島の樹木が枯れた。発砲による駆除対策を講じた結果、現在はあまり姿が見えなくなったが、漁業被害は深刻であり、駆除事業の継続が必要と考えるが如何に。	

③連携のまちづくり	「自然災害対策の推進」	一昨年、庵治地区は台風により今までにない大きな高潮災害に見舞われた。これを機会に高潮対策として、水門、ゲート等の整備を実施した。併せて漁協も了解し、「庵治漁港高潮対策事業計画書」が作成されているが、実施計画には記載されていない。住民の生命と財産を守る観点からも優先順位は高いと考えるが、18・19年度および今後における計画は如何に。	
	「移動図書館巡回サービスの実施」	巡回ステーションの増設若しくは変更は可能か。	
	「新成人祝賀講演会の開催」	新成人の間では、校区毎に成人式の場を持ちたいとの要望があるが如何に。	
	「CATVの整備」	庵治地区のCATVの計画と今後の整備方針は如何に。	
	「庵治地区子ども会の育成」	子ども会組織への補助については、合併年度の翌年度から4年度目において、高松市の制度に統一するよう段階的に調整するとされており、平成18年度では前年度の約7割となっている。自主的運営が可能となるまで、補助を増嵩していただきたいが如何に。今後の補助金交付額について説明を求める。	
④交流のまちづくり	「観光地屋島の活性化」	建設計画において庵治町地域は海の交流拠点ゾーンに位置づけられている。陸上観光だけでなく、瀬戸内海の自然を十分生かし、遊覧船の就航により、海から見た屋島、五剣山の眺望、また観光漁業との提携などによって、海洋性観光を積極的に取り入れる考えは如何に。また、地元物産展など地場産業との連携も必要と考えるが如何に。	
	「観光地屋島の活性化」	庵治地区については、地理的、文化的な関係から、屋島の活性化事業と関係が深い。市全体事業費として1,170万円計上されているが、各々の事業内容、予算について説明を求める。	
	「市道の整備」	「丸山湯谷線」については、庵治地区の地理的特性から、朝夕の通勤・通学および夏季の海水浴シーズンの渋滞、また防災面からの複数のアクセス道路の確保の観点から、旧庵治町の振興計画および建設計画にも大きく掲げているものである。18・19年度実施計画には記載されていないが、現在の進捗状況、今後の計画等の説明を求める。	
⑤参加のまちづくり	「自治会組織の充実とコミュニティづくり」	「地域コミュニティ構築の支援」について、具体的な施策の内容、予算について説明を求める。	
	「地域の広報誌について」	合併による「広報あじ」の廃止により、庵治地区の情報がわかりにくい。「庵治地区地域審議会だより」など広報紙発行に対する予算措置をする考えは如何に。	
⑥その他	「支所備品、会議室の使用について」	関係団体または公共的団体が、借用または使用する場合の申請、許可等制度の簡略化を図られたい。	